

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 17日

事業所名 パル・キッズ・クラブ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		人数・状況に合わせて、1F・2Fに分かれて対応しています。	子どもの発達状況に合わせて、個室スペースを設置していきます。
	2 職員の配置数は適切である	6	1	定員基準より多くは、定員の配置を行っています。	子どもの状況に応じて、適切な定員の配置を行っていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		7	子どもが理解しやすいように、絵カード等を提示しています。	今後も子どもたちが理解しやすいように、絵・言葉カードや図表などの提示をしていきます。バリアフリー化については、今後検討していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		毎日のミーティングで日程・目標の話し合いを行っています。	今後も継続し業務改善に繋げていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		事業所の評価を実施し、その結果を職員全員に周知しています。	評価表の結果を真摯に受け止め、改善に努めていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		ホームページを随時更新しています。	自己評価の結果や、色々な行事等を公表していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7		年に一度、外部評価を行っています。	今後も継続して行っています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		様々な研修に積極的に参加し、参加の呼びかけも行っています。	今後も色々な研修に参加し、また事業者内でも研修の内容の引継ぎを行っていきます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		アセストを行い、ニーズや課題等を客観的に分析し、作成しています。	今後も継続して行っています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		標準化し、独自に作成しています。	今後も継続して行っています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		各活動を委員会と称して、職員を割り当てている。	今後も継続して行っています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		定期的に活動内容を曜日ごとに変化をつけています。	今後も曜日や内容を変更し、固定化しないよう工夫していきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		決まった活動をこなすだけではなく、イベントや活動をたくさん取り入れています。	今後も継続して行っています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		個別活動・集団活動を計画し、実施しています。	今後も継続して行っています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎日のシフトを作成し、毎日ミーティングを行っています。	今後も日々のシフトを作成し、毎日のミーティングで業務等の確認を行っていきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4	気付いた点は、毎日のミーティングで振り返り、話し合いを行っています。又、重要事項等は日々の業務日誌に記録し申し送りをしています。	毎日のミーティングにて、職員間での情報共有を行っていきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		支援経過を元に、記録し次に繋げています。	日々の記録に努め、支援の検証・改善を随時行っています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		半年に一回は、モニタリングを行い、計画書の見直しを行っています。	少なくとも半年に一回のモニタリング、計画書の見直しを行っていきます。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7		基本活動を組み合わせ行っています。	今後も継続して行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		児童発達支援管理責任者が参加している。	今後も継続して行っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		行事や下校時間等は毎月書面にて貰っている所もあり、何かあればその都度情報共有はおこなっています。	今後も継続して行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7		保護者を通じて連絡体制を図っています。	今後必要時は主治医との連携も図っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1	必要時は連携を図り、情報共有を行っています。	今後も必要時には情報共有や相互理解を図っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		7	該当者がいません。	今後、対象者に対しては情報提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		必要機関と連携を行っています。	今後も、研修等に参加し、情報交換に努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7	老人ホームとの交流はあるが、その他の交流は現時点で実施していません。	今後、交流の場を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		7	現時点で参加していません。	今後、機会があれば参加していきたいです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		連絡ノートに子どもの状況を書いたり、送迎時に様子を伝え、コミュニケーションを図っています。	保護者とのコミュニケーションを図り、共通理解を持って支援していきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		7	現時点で実施していません。	今後の課題として検討させていただきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に説明を行っています。	今後も、契約時に説明を徹底します。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		相談があった際には、適切に対応しています。	今後も、保護者からの相談等に適切に対応し、助言や支援を行っていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1	年に一回、懇談会兼保護者会を開催しています。	今後、保護者同士の交流の場も検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		相談がある際は、速やかに対応すると共に、必要な場合は様々な機関と連絡を取っている。	今後も、相談に対して速やかに対応し、必要な際は他機関との連携も行っていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		毎月の新聞で、行事予定を発行しています。	今後も、毎月の新聞発行・配布を行っていきます。
	35	個人情報に十分注意している	7		秘密厳守を徹底しています。	今後も個人情報の取り扱いについては十分注意していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		毎日の連絡ノートや送迎時に必要な情報を伝えていきます。	今後も、連絡ノートや送迎時に保護者とのコミュニケーションを図っていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7		年に1~2回、地域の方も招待して行事(フェスタ)を行っています。	今後も継続して地域の方との交流を図っていきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		契約時にマニュアルの説明を行っています。	今後も、職員に周知を徹底し、保護者の方に周知を行います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		毎月一回、様々な避難訓練を行っています。	毎月一回、様々な避難訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		定期的に研修に参加しています。	研修会を確保し、虐待防止に努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		7	該当者がいません。	今後、必要時は保護者と十分に話し合い、対応させていただきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		アレルギーの子に関しては、除去を徹底し、アレルギー一覧表を作っています。	今後も、アレルギーの子に対して除去と事故防止に努めていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		怪我や事故の危険だと思われる行動は、ヒヤリハット表に記入し、会議等で話し合っています。	今後も職員全員で共有していきます。